

◆事前にお受けした質問への回答

Q1 集客力をあげること、地元長岡での周知率がないのでは？  
観に行きたいチーム作りをどうしていくのか？

A1 今シーズンの方針は「稼ぎながら勝つ」とおいております。  
勝つことと十分な収益確保を両立させる必要があると考えています。編成もこの方針に則って行って参りました。観に行きたいチームかどうか、という観点では、ある程度成し遂げられたのではないかと考えており、開幕戦を含めた当初の集客は見込めると予想しています。シーズンを通して集客する為には"勝つこと"が重要で、そこも含め、限られた強化費の中でこのチームを創りました。おっしゃる通り、私自身も周知率はまだ低いと感じている為、地域活動を今まで以上に密度濃く行っていきたいと思っています。

Q2 勝つことも大事ですけど、内容のいい、見応えのある試合が観たいです。

A2 選手も良くわかっていますので、昨シーズンのような惨憺たる試合、やる気がないように感じさせてしまう試合などないように、話し合っ参ります。どうか今シーズンの試合を多く観ていただき、率直なご意見をお聞かせください。強化部長を私が兼務していますので、私自身も感じたこと・疑問に思ったことは都度ストレートに鶴澤ヘッドコーチに伝え、コミュニケーションを密にして参ります。

Q3 今後のチームとしての、カテゴリーを超えた展望と現在地との乖離を説明いただきたい。昨年度までは夢物語だけで終わっていた。容易く一年で復帰などと中途半端な言葉だけでなく、それを実現するための具体的な理論や展望が欲しい。

A3 青写真としては早くも 2030-2031、遅くとも 2031-2032 シーズンでの B.PREMIERE 入りを視野に入れています。集客で現状+2,300 名の平均 4,000 名。強化費もサラリーキャップの 8 億に近づけるよう確保してゆきたいと考えています。そして重要なのは基準を満たすアリーナの準備。現時点では各論は未整備ですが、集客・売上・アリーナの基準超えを実現する為の、現実的かつワクワク感ある中長期プランを創り上げ、改めて皆様にご提示させていただきます。まずは B2 にあがってからモノを言え、というお声もあるので、短期的にはそこに集中し結果を残して参ります。

Q4 2 年連続降格となった根本原因をお聞きしたい。

A4 大きく分けて 6 つの問題点があったと考えております。それぞれに対し、今期打てる打ち手を実行に移しております。残念ながら予算・労力の限界もあり、今期手をつけられない部分もございますが、フロントとしてやれることはすべてやります。そして、やれないことはやれない（+代替案）を正直にお伝えして参りたいと考えております。

Q5 後援会とアルードクラブの棲み分けを教えて欲しい。

A5 正直棲み分けが不明確で混乱させてしまっている状況です。申し訳ございません。

時間をかけ、あるべき姿をつくり、明確にしていく必要があると考えております。現時点で思うことは以下のとおりです。

後援会は、チームに加え弊社の運営・広報・集客・地域活動など、新潟アルビレックスBBの活動の全てを「支援」「後援」していただく団体であり、後援会会員様相互、球団と地域との結びつきを深めることを目的としている地域密着型組織であると考えております。

それに対し、アルードクラブは、選手やチームを「応援」するファンが集う組織であり、弊社とファン、ブースターの結びつきを深めることを目的としているものであると捉えております。

つまり、後援会とアルードクラブは似て非なるものであるべきであり、誤解を恐れずに端的に言えば、アルードクラブが「選手やチームを応援するブースターのために弊社が運営する組織」であるのに対し、後援会は「バスケットというスポーツで地域振興を志す個人の方や法人様が集う組織」いう棲み分けになるのではないかと考えておる次第です。ここは引き続き熟慮し、皆様のご納得感を得られる「あるべき棲み分け」を創り上げてゆきます。

Q6 5月ブー感でオークションの件（手渡し中止）はうやむやにしないで欲しい。

A6 大変申し訳ございませんでした。時間の関係で皆様には大変申し訳ないことをしてしまいました。深くお詫び申し上げます。二度とあのようなことがないように徹底して参ります。

Q7 後援会ブーストコイン景品が数年分未だに届いていないことに対してアナウンス、対応をシーズン開けまでに行って欲しい。

A7 申し訳ございません。必ずシーズン開始前迄に対応させていただきます。

Q8 後援会会員はランクによってチケット価格を分けても良いのではないかと？プラチナとオレンジで同じ扱いなのは腑に落ちません。もちろん無料チケ配布もですが。

A8 後援会については、先にお答えした通りでございますので、明確かつ適切な棲み分けを行い、後援会様とのコンセンサスを得て、整理して参りたいと考えます。一方、アルードクラブの特典につきましては、いただいたご意見も含めましてより適正な特典に改良していきたいと考えております。

Q9 選手の年齢構成を考えてほしい。

A9 限られた枠と強化費の中で"稼ぎながら勝つ"為のベストの布陣は何かを考え抜いた結果、このような年齢構成となりました。どっちつかずに中途半端になるのは最悪なので、ある意味「振り切った」編成を行った結果、このような年齢構成となった次第です。

- Q10 アシスタントコーチ含めチームスタッフ決定はどの様になっていますか？選手同様に重要ですので、しっかり発表して頂きたいです。
- A10 アシスタントコーチは現在未定の状況です。引き続き、急ぎ体制整備をすべく尽力して参ります。正トレーナーは9月末にジョイン予定。それまでは現在フロントで元トレーナーの阿部理一がトレーナーを務めています。
- Q12 B3になってもオープニングムービーは今まで以上かっこよい(チームで勝つと言う意思が明確にわかる)ムービーを作成希望します。(地区優勝した時の様な。正直去年の物は間接的な強さ強調で好きではありません)
- A12 ご意見ありがとうございます。演出の担当に伝え、検討させていただきます。
- Q13 新しくチーム作りをする訳なので最初は日々の練習風景など SNS 活用して発信してもらえると嬉しいです。
- A13 承知いたしました。可能な限り対応させていただきます。
- Q14 資金面がある事は重々承知していますが何とか専用練習場を確保できませんか。
- A14 資金面の問題もまだまだありますが、近い将来、専用の練習場ができるよう経営面でも努力を重ねて参ります。
- Q15 直接クラブへ言う事ではありませんが現行の後援会重鎮メンバーの考え方やスタイルを変えない限り選手からもブースターからもチーム事態のイメージが悪くなるばかりです(変化を求めても無理なら別の後援会を作ってはダメですか?)
- A15 ご意見ありがとうございます。詳しいお話をお伺いした上で対応させていただきます。
- Q16 選手との交流会を開催して欲しい。
- A16 どのような形になるかはわかりませんが、フロントとしても実現できればと思っておりますので、チームとも相談して参ります。
- Q17 チーム運営体制が強化、充実されなければ、今までの繰り返しになると思います。運営会社はどのように考えているのかをお聞きしたい。
- A17 事業力の向上がなければ大した違いを産み出せないと感じております。そのために何が大事かといえば、強力なフロント組織の構築。既存メンバーの育成と有為な人材の新規採用が必要と考えております。

- Q18 今シーズンの選手リクルートの自己評価をお聞かせいただきたい。
- A18 80点。あとは勝つか否かです。
- Q19 毎年思うのですがブースターさんやお客様に対してリスペクトが無い様に思います、来てくれる方々に挨拶すら出来ないスタッフ悲しいです。
- A19 そのようにお感じなられてしまったこと、まずはお詫び申し上げます。ブースターの皆様への感謝を忘れることなく、また行動に表して感謝をお伝えできよう、フロントスタッフ一同、行動改善に努めます。
- Q20 アリーナ BGM に関してです。アウェイのブースターは「新潟は米しかないでしょ？」と思ってる人多いと思うので逆手にとって打首獄門同好会(メンバーの河本アスカさんは今日8/12プロレス見にアオーレ来てます)の『日本の米は世界一』をかけてみるのはどうでしょうか？子供含めて盛り上がると思いますよ。あとは GLIM SPANKY の『Fighter』もカッコイイです。ぜひ聴いてみてください。
- A20 ご意見ありがとうございます。